

# 平成20年度 会社業績の概要

平成21年4月

四国電力株式会社

# はじめに

本資料は、お客さまや株主をはじめとする皆さま方に、当社における平成20年度の経営効率化の取り組み状況や収支実績をご紹介することを目的に、会社業績の概要として取りまとめたものです。

ご高覧いただき、当社事業についてご理解を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年4月  
四国電力株式会社

## 【目次】

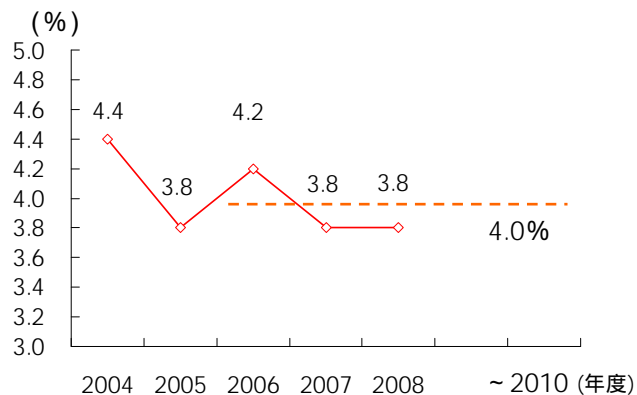
1．中期経営構想 数値目標の進捗状況 -----	1
2．効率化に向けた取り組み -----	2
3．販売拡大に向けた取り組み -----	4
4．新たな事業領域への挑戦 -----	6
5．収支の状況 -----	9

# 1 . 中期経営構想 数値目標の進捗状況

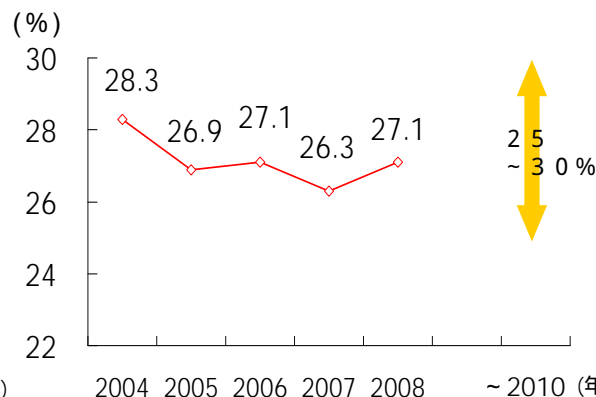
数値目標については、目標達成に向け順調に推移しております。

	数値目標（連結） （2006(平成18)～2010(平成22)年度）	2008(平成20)年度 実績 （（ ）…3カ年平均又は累計）
<b>R O A</b> [総資産営業利益率]	平均 4.0%以上	3.8% (平均 3.9%)
自己資本比率	25～30%	2008年度末 27.1%
電力販売拡大	5年間で10億kWh	1.8億kWh (累計6.8億kWh)

ROAの推移

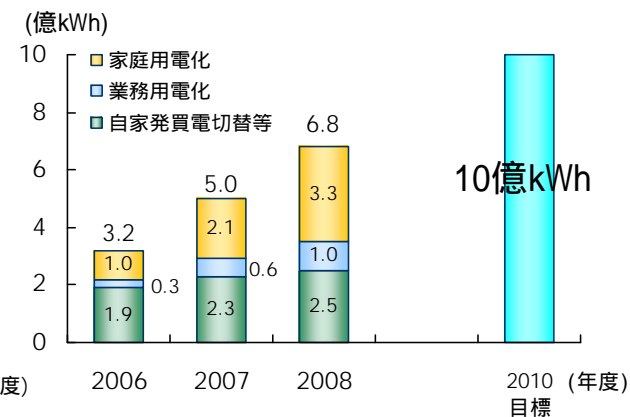


自己資本比率の推移



(注) 2005年度以前の「自己資本比率」は、従来の「株主資本比率」を記載しています。

電力販売拡大の推移



## 2. 効率化に向けた取り組み (1 / 2)

### 設備投資・修繕費

設備投資額については、平成4年度をピークに減少してはいましたが、至近は、坂出發電所のLNG導入工事の本格化などにより一時的に増加基調となっており、平成20年度については、678億円となっております。

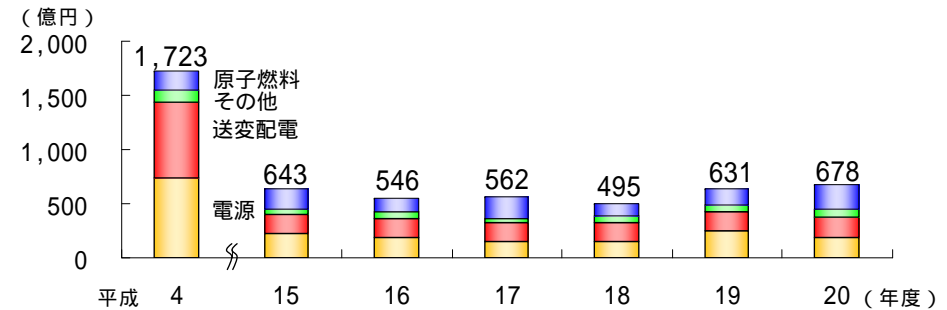
修繕費（販売電力量あたり）については、効率化を進めた結果、平成18～20年度平均で、10年前に比べ、約8割程度にまで抑制しています。

当社では、今後とも、安定供給の維持を大前提に、中長期的な視点に立ち、計画的、効率的な設備の形成・運用・保守を進めてまいります。

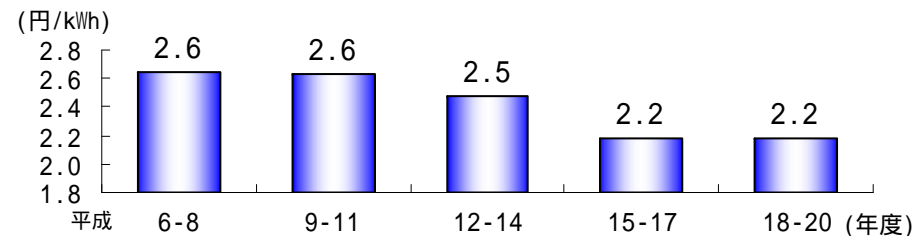
### 効率的な設備運用

伊方発電所の設備利用率は、概ね80%以上と高水準を維持しており、20年度については、84.5%となっております。今後も、伊方発電所の安全・安定運転を最優先に、効率的な設備運用を継続いたします。なお、平成21年度は、伊方1・2号機の中央制御盤取替工事により利用率は低下しますが、その後は80%を上回る水準を維持する見通しです。

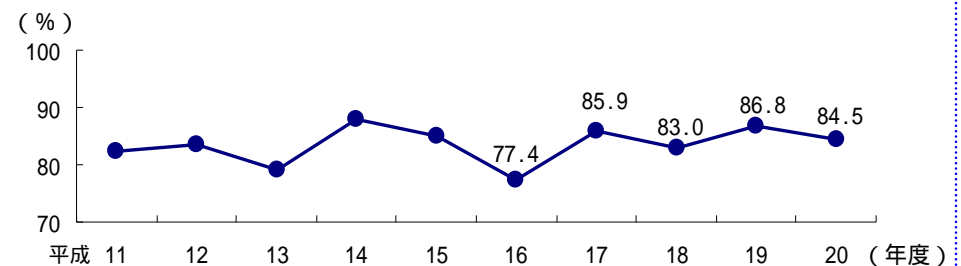
設備投資額の推移 (附帯事業を含む)



修繕費（販売電力量あたり）の推移



伊方発電所の設備利用率の推移



## 2 . 効率化に向けた取り組み ( 2 / 2 )

### 電気料金への反映

こうした経営全般にわたる効率化の成果の電気料金への反映は、平成8年1月以降、通算7回におよび、至近では、昨年9月に 1.0%の見直しを実施いたしました。

21年度については、景気後退の影響を受け販売電力量が落ち込む中で、伊方1・2号機の中央制御盤取替工事や原子力利用率の低下など費用増加要因はありますが、引き続き効率化を推進し、コストダウンに努めていくことで、現行の電気料金を維持してまいります。

### 電気料金の改定状況

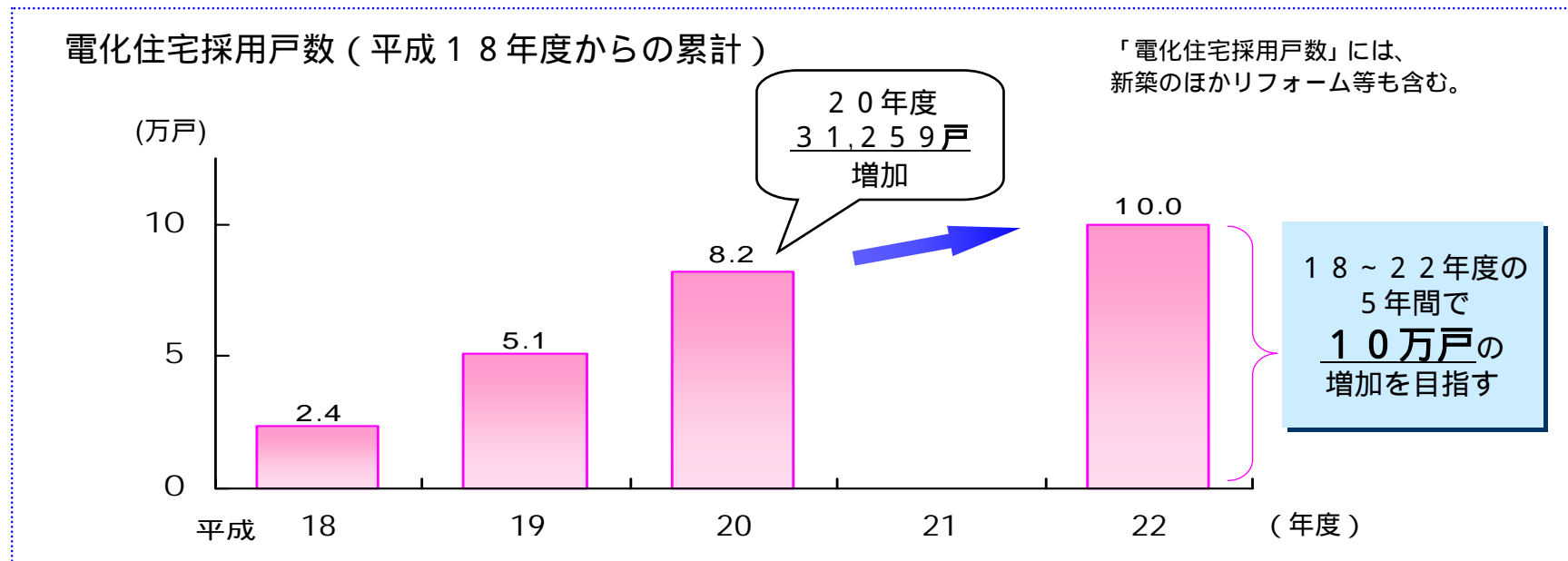
実施時期	改定率
8年 1月	7.36%
10年 2月	6.52%
12年10月	5.26%
14年10月	5.22%
17年 4月	4.23%
18年 7月	2.57%
20年 9月	1.02%

(注) 改定率は規制部門における燃料費調整額を反映した料金からの変動率を示す。

### 3 . 販売拡大に向けた取り組み ( 1 / 2 )

#### 住宅電化推進

平成20年度は、住宅着工戸数が落ち込む中、31,259戸の電化住宅をご採用いただき、平成18～22年度の5年間で10万戸増の目標達成に向けて着実に増加しました。

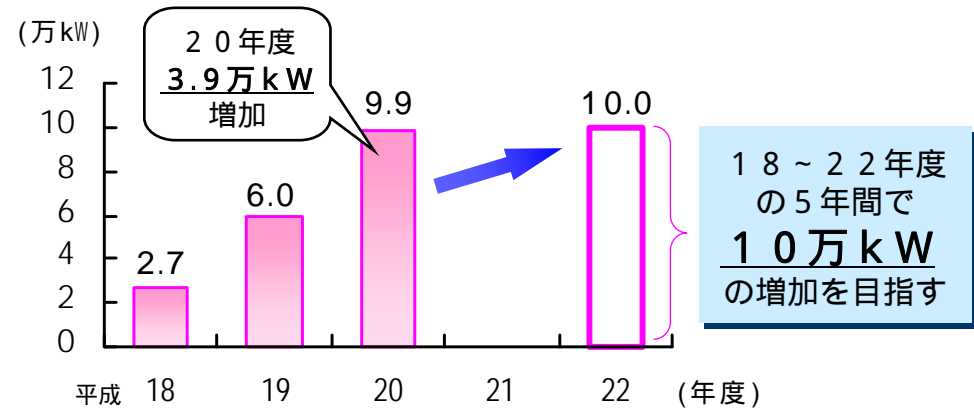


### 3 . 販売拡大に向けた取り組み ( 2 / 2 )

#### 業務用電化推進

オフィスビルや商業施設、学校、病院などの業務用分野においては、空調・給湯・厨房の電化促進に向けた取り組みを進めており、平成20年度の業務用電化開発容量は、3.9万kW増加し、平成18～22年度の5年間で10万kW増の目標水準にほぼ達しました。

業務用電化開発容量 (平成18年度からの累計)

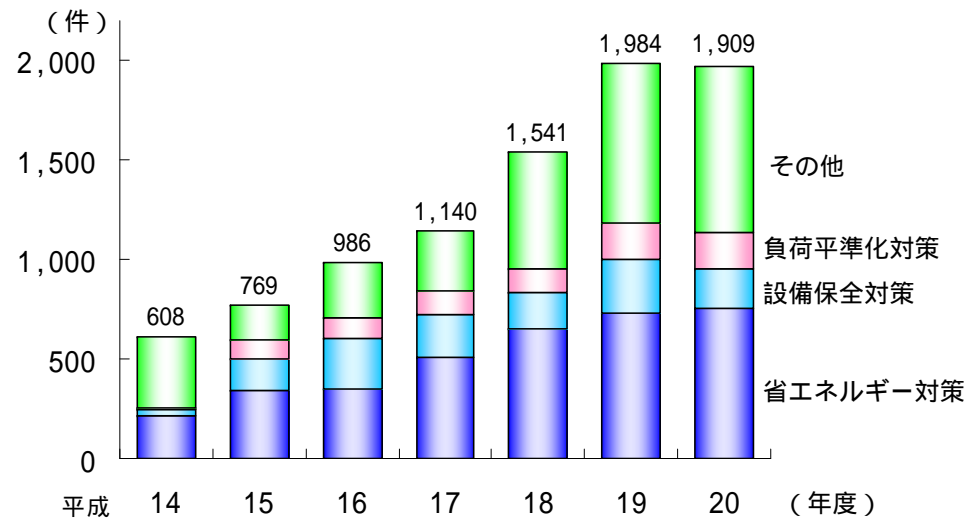


#### ソリューションサービスの展開

生産設備・照明設備の省エネ診断や劣化機器取替による設備効率の改善など、お客さまが直面する様々な技術的課題に対して、当社グループが保有する技術力・ノウハウを活用してより良い解決策を提案する『技術サポート活動』をグループ挙げて推進しております。

平成20年度は、約1,900件の提案を実施し、このうち約700件をお客さまに採用いただきました。

技術サポートの実施状況



『暮らしを支えるマルチユーティリティー企業グループ』の実現に向けて、当社が進めている「総合エネルギー」「情報通信」「ビジネス・生活サポート」の各事業分野における取り組みをご紹介します。

### 総合エネルギー

#### LNG販売事業

坂出市番の州地区におけるLNG導入に伴ない、LNGの都市ガス卸供給・大口販売を行うなど、新たなエネルギー供給事業による収益の拡大を目指しています。地元のガス会社に対する卸供給の契約を締結するとともに、大口販売についても営業活動を強力に展開してまいります。

都市ガス卸供給

+

大口販売

10万トン超の販売を目指す

#### 海外事業

当社は、初の海外発電事業としてカタール国の「ラスラファンC発電・造水プロジェクト」に参画しました。2011年4月の運転開始に向け、現在、発電所や造水プラントの建設を進めており、今後、当社からも技術者を派遣し、プラントの運転・保守に関する監督・管理業務を実施する予定です。

#### ラスラファンC発電・造水プロジェクトの概要

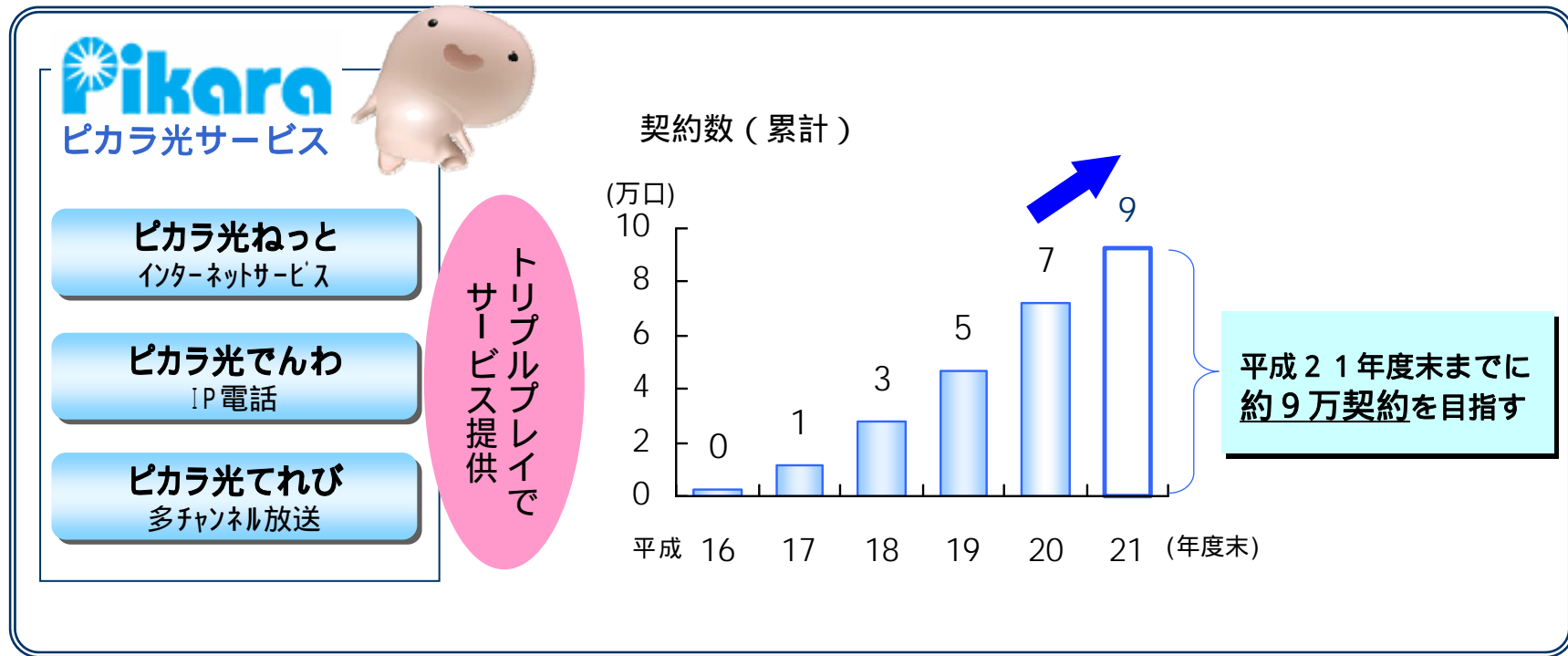
- ・発電設備：273万kW ガスタービン・コパインドサイクル発電設備
- ・造水設備：29万トン/日 海水淡水化設備
- ・電力・水の販売先：カタール電力・水公社
- ・総事業費：約3,900百万米ドル



## 情報通信

### F T T H 事業

情報通信分野では、ご家庭に大容量・高速の光通信サービスを提供する F T T H 事業に注力しており、当社グループでは、(株) S T N e t が、個人向け光サービスの『ピカラ光サービス』を四国の4県都を中心に提供しています。平成20年度末の累計契約口数は約7万口となっており、平成21年度末までに約9万契約を目指しています。



## ビジネス・生活サポート

これまで自治体等が手がけてきた公共サービスなど、地域や生活に密着した「ビジネス・生活サポート」の分野では、よんでんグループの技術力や信用力を活かし、自治体関連事業や介護事業などに取り組んでいます。

### 自治体関連事業

#### PFI事業 1

事業主体	事業内容
(株)宇多津給食サービス	宇多津新給食センター整備運営事業
(株)徳島市高PFIサービス	徳島市立高等学校校舎整備等事業 (平成20年9月建設開始、22年6月完成予定)

- 1:PFI事業・・・公共施設の整備事業において、民間が資金を調達し、設計・建設を行うとともに、施設の維持管理・運営なども一括して行う事業手法
- 2:指定管理者制度・・・自治体が所有する公共施設の管理・運営について、外郭団体や民間企業等に包括的に代行させる制度

#### 指定管理者制度(20年度受託施設) 2

自治体	施設名
高知市	ヨネッツこうち(四電ビジネス)
松山市	松山市坂の上の雲ミュージアム(四電ビジネス)
伊方町	伊方スポーツセンター(伊方サービス)
香川県	香川県立体育館・武道館(四電工) 香川県立丸亀競技場(四電工) 香川県立総合水泳プール(四電ビジネス)
高松市	ループしおのえ(四電ビジネス)

### 介護事業

事業主体	事業内容	施設名
(株)よんでんライフケア	介護付有料老人ホーム事業	アミーユよんでん道後(松山市)
		アミーユよんでん栗林(高松市)

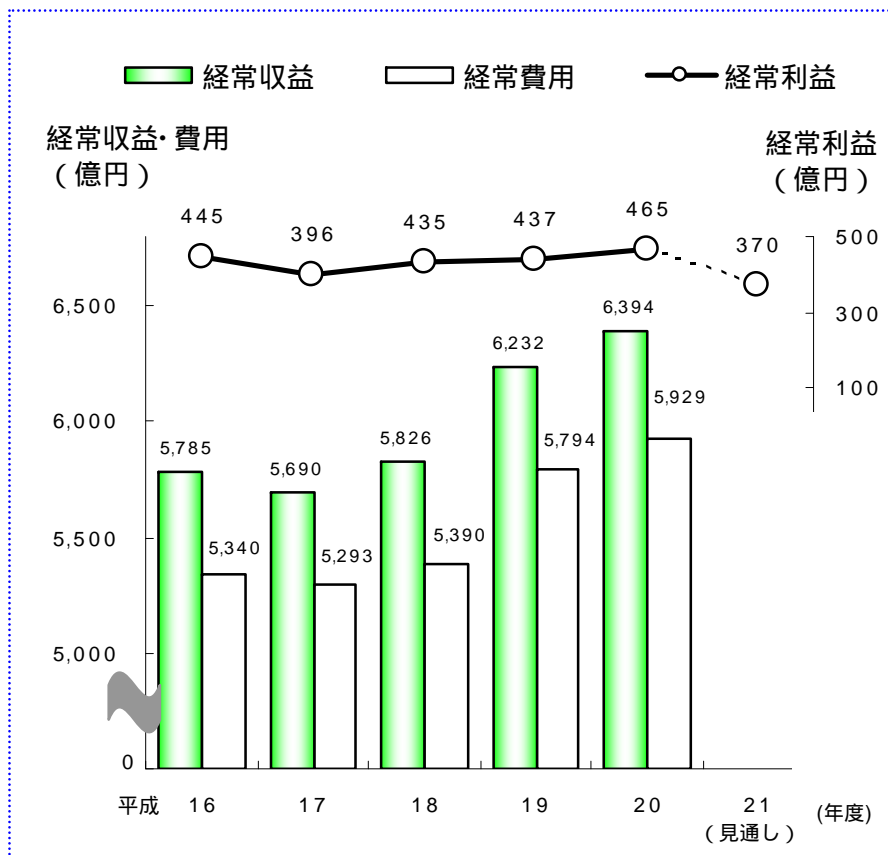


アミーユよんでん栗林 (高松市)

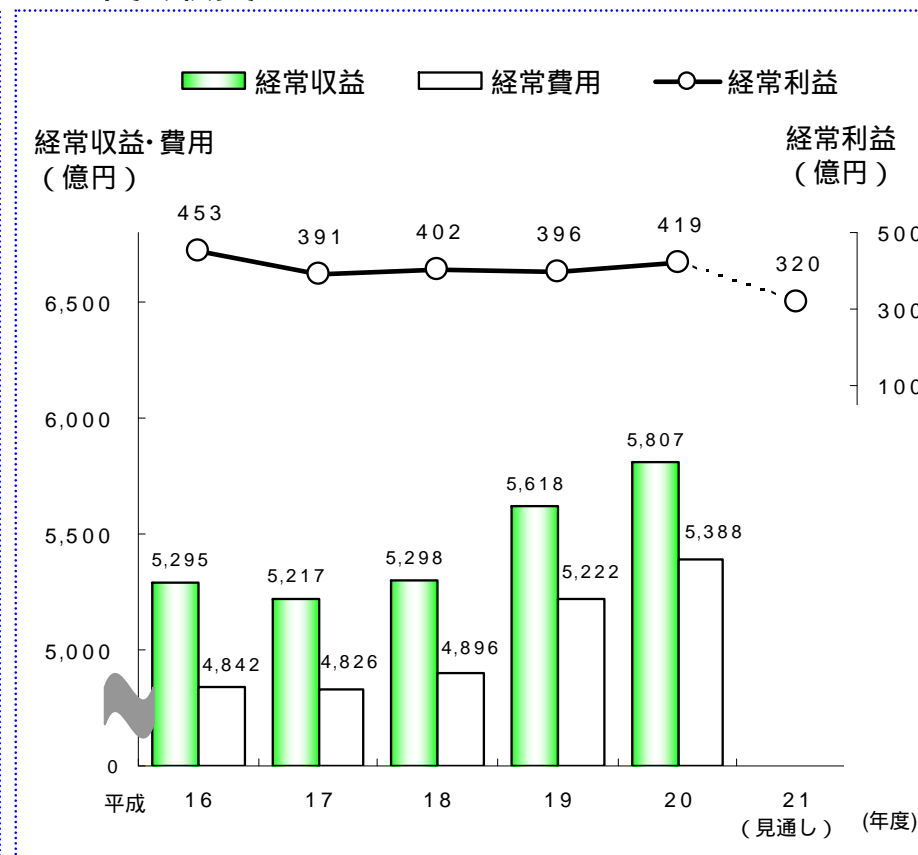
# 5 . 収支の状況

収支の状況については、販売の拡大や経営全般にわたる効率化の推進などにより、安定した利益水準を確保しています。

### 連結収支



### 単独収支



## 収支実績 [ 単独 ]

( 億円 )

		1 6	1 7	1 8	1 9	2 0
経常収益	電 灯 電 力 料	4,472	4,474	4,536	4,667	4,831
	地帯間・他社販売電力料	631	562	552	721	763
	そ の 他 収 益	191	180	209	230	212
	計	5,295	5,217	5,298	5,618	5,807
経常費用	人 件 費	682	563	477	597	659
	燃 料 費	663	749	803	1,082	1,117
	購 入 電 力 料	527	614	595	618	769
	減 価 償 却 費	858	822	763	711	677
	修 繕 費	636	564	628	607	645
	支 払 利 息	171	139	192	145	113
	そ の 他 費 用	1,302	1,371	1,435	1,459	1,404
計	4,842	4,826	4,896	5,222	5,388	
経 常 利 益		453	391	402	396	419
当 期 純 利 益		281	278	258	242	268

(注) 億円未満は切り捨て表示。

## 主要諸元

		1 6	1 7	1 8	1 9	2 0
(対前年度伸び率)		(3.6%)	(2.8%)	(0.7%)	(3.9%)	( 1.9% )
電 灯 ・ 電 力 量	( 百万kWh )	27,211	27,968	28,161	29,269	28,701
出 水 率	( % )	123.3	74.1	97.1	75.2	98.0
原 子 力 利 用 率	( % )	77.4	85.9	83.0	86.8	84.5
為 替 レ ー ト	( 円 / \$ )	107	113	117	114	101
原 油 C I F	( \$ / b )	39	56	64	79	90

地域と共に生き 地域と共に歩み 地域と共に栄える



**四国電力株式会社**